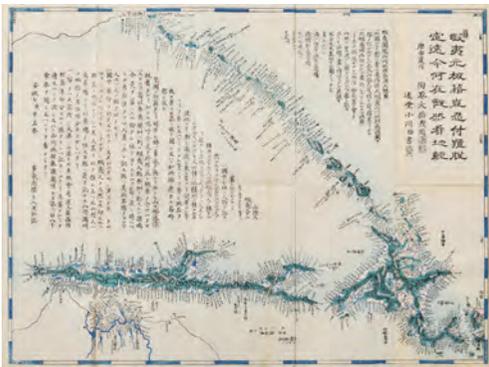




1 北海翁 蝦夷風俗画／廿五拝鑑背 横巻 松浦武四郎筆及び製 1,650,000円

表題は箱書きによる、2巻組。蝦夷風俗画巻は26×315種、墨筆無彩。ムンカルの図、イトノイの図、アマシユケの図、ウカルの図、シュトの図など生活場面を中心としたスケッチ集。同様の画卷として富岡鉄斎旧蔵「蝦夷図巻」（吉田武三「増補松浦武四郎」所載）が知られるが、場面に重複は無いようである。もう1巻は26×660種、「天満宮二十五霊場 神鏡背面拓本」（明18）として松浦武四郎記念館所蔵と同じものか。天神・天満宮への巡拝、神鏡奉納は明治期の武四郎の事業として重要なものであったという。



2 蝦夷闔境山川地理取調大概図

全 松浦武四郎 安政7年刊 330,000円
小型図ながら江戸期における日本北辺最精図。木版彩摺、私刊初摺、38×50種、原装簽付、保存良。



3 千島一覽 松浦武四郎著画

和泉屋市兵衛版 明3 550,000円

木版彩摺、37×74.5種、元袋付。北海道を中心として千島列島及樺太を含む鳥瞰図。樺太を州とし全12州79郡を俯瞰している。余白に里程記載。小虫裏打有、保存良。





4 東西蝦夷山川地理取調図 本図及び首尾共 全28冊揃 松浦武四郎 安政6~7 3,300,000円

木版彩摺、2米40糎×3米60糎（1冊は各51×38糎程度）、原装題箋付。松浦武四郎の蝦夷地探査を集成する精細図。クナシリ・エトロフを含み、木版の地域図として最大のものであろう。輪郭は伊能忠敬・間宮林蔵の実測、内陸は武四郎自らの探査による。安政6~7年に涉り刊行され、後に開拓使においても重用されている。本図26冊、首図（概図・案内・土人名簿）、尾図（里数・人別等一覧表）とも全28冊の完揃。僅かな小虫補修有。木箱入、保存良。



5 松浦武四郎アイヌ風俗画扇面 額装1面 220,000円
酒宴の図。「戌牛孟春 多気志楼主人図(印)」
着色、20×47糎。



8 東蝦新道記 拓本 一三三、〇〇〇円
寛政10年蝦夷地調査の際、近藤重蔵が十勝広尾の約3里の山道を開削した顛末を板彫し奉納したもの。万延元年に再刻され、本品はその原拓である。102×42糎、軸装1幅。原板は北海道有形文化財に指定されている。

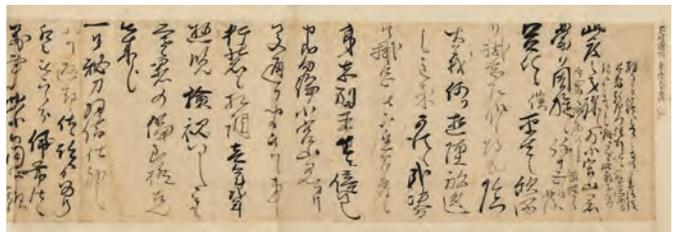


6 松浦武四郎和歌短冊 一六五、〇〇〇円
「北海道中の吟 天津風 胡沙吹きはらへ 後方羊蹄の千代ふる雪に 照る日影みん 弘」 武四郎の代表的な名歌とされる。保存良。



7 撥雲餘興 一・二集 松浦武四郎 明10・15 385,000円

全2帖 木版彩摺 各30丁、36×25糎余の大判。武四郎長年に亘る蒐藏品の解説付き図録集。写生画は主に河鍋暁斎に依り、ほかに青木政好、秦蔵六、柏木政矩ら。彫工・木邨嘉平昌義(四代目)。第二集は見る事少なく、揃いは稀。原装題箋付、周開余白・ノド元に僅虫有、保存良好、さらに各集とも元袋付。



9 近藤守重北辺探険出前手簡 立原翠軒宛

寛政10年4月 660,000円

近藤守重、小宮山楓軒、木村謙次(下野源助)2通、渡部五郎衛門の5通合装1巻。蝦夷地調査を拝命した近藤は、旧知の立原、小宮山の推挙により蝦夷地の事情に長じた木村を同行させる。(渡部も同様か)その出立目前の書簡集。

10 俄羅斯亞雜話 律生盧藏

文化4年写 一、三〇、〇〇〇円

卷子仕立て、上・下巻および続巻2巻の全4巻、総長33米余。文化元年ロシア使節の長崎来航に関する記録と関連記事。応接次第、ロシア人達の様子や近隣諸藩の警護などを挿絵を交えて記述している。下巻途中から続巻にかけて、「一緒に帰国した仙台湾流民らの体験記録が描かれているが、大槻玄沢らのまとめた「環海異聞」とはかなり異なっているようである。東大図書館南支文庫本によれば武田孟文の著、文化二年自序とあるが、本写本は筆者は記載されず、続巻末尾に「文化四年十一月二十一日写 律生盧藏(印)」とあるのみ。伝写本は稀。



11 環海異聞 全15巻8冊 津太夫ら述 大槻玄沢編

弘化3年写 二、五三〇、〇〇〇円

文化元年、露国使節レザノフに伴われ帰国した仙台湾の漂流民・津太夫ら4名の見聞を記録したもので、文化4年に完成し藩主に呈されたが、この上写本は現在確認されていない。本写本は本文に丁付けがあり、通巻559丁、挿絵は計110図を有する。内閣文庫本と比較して本文は僅かの語句の差違以外はほぼ完全。挿絵も精細な写しにて、比較出来た範囲では遜色は殆ど見られない。265×181mm、「弘化三丙午年季夏従初旬写始 暮秋中旬彩色仕立出来 於齊壽堂 齊寛昶ノ男齊寛温」と奥書き有、「齋藤氏藏書印」保存良。

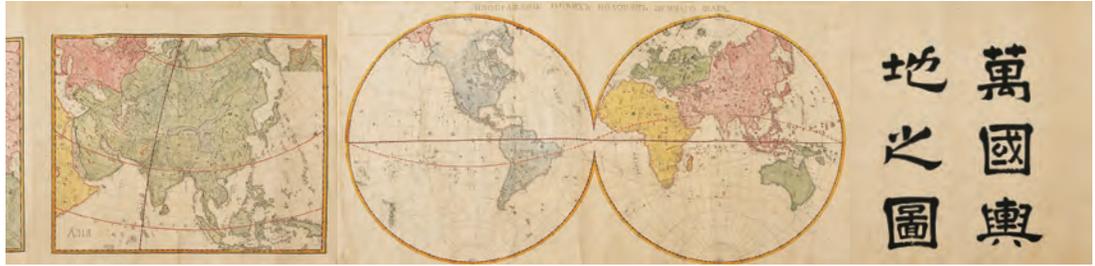


12 海防彙議 全15冊 塩田順庵編

嘉永2年序 三八五、〇〇〇円

編者は幕府の医官、後に幕命により箱館医学所を開設する。序に依れば、生来書物を好み、蒐め得た海防辺備に係る文献六十余种を編纂し、海防彙議と名付くことある。その後続巻、補遺が追加されるが、本写本は初稿本の写しか、全9巻・附録・補巻1・5、内4冊に彩画入、小虫裏打有。



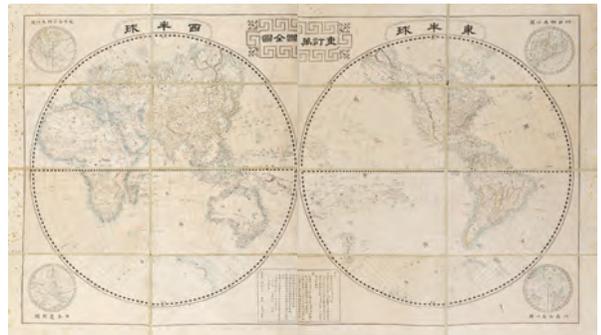


13 萬國輿地図 桂川国瑞訳 1,650,000円

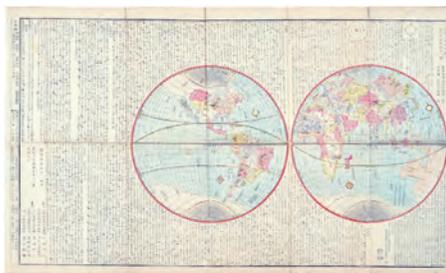
享和元年 一齊正清写 59.5 × 5米60 糎、
紙本着彩、1巻。北極開略附図の内、地球全図（兩半
球図）、亜細亜全図、歐羅巴全図、阿弗利加全図、亜墨
利加全図、亜細亜亜墨利加対峙図の6図を載す。内閣
文庫本（献上本）と比して、魯齋亜墨界全図・分図等
が省かれているが、附図の伝写本は稀少。

14 韃靼漂流記 完／漂海談 全 ほか
275,000円

「韃靼漂流記」（表題は「漂流記」）、墨付28丁（10
行詰）。「漂海談」は墨付104丁、筑前国・孫太郎、
薩摩国・池山喜三左衛門、伊勢国・幸太夫、陸奥
国・左平の4篇の漂海談を収める。ほかに「和蘭
告密」「米行詩記」、計4冊。江戸後期写。

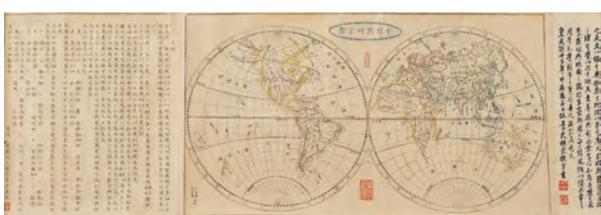
15 重訂萬國全図 山路諧孝
安政2年刊 1,100,000円

木版筆彩入、114 × 197.5 糎、図面面粉ちらし、布
張り原裝簽付、1冊。「新訂萬國全図」の改訂版。
補訂者は諧孝の長子・彰常と佐渡の新発田収蔵で、
地名は著しく増補、間宮海峡の経緯度も修正された。
僅虫補修、簽に少しすれあれど保存良。



16 蘭新地球全図

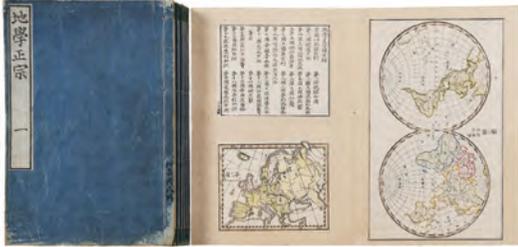
橋本宗吉 寛政8年刊 495,000円
木版筆彩、55.5 × 93 糎、初摺板、
アルファベット空押し模様の原表
紙、題簽付。長久保赤水校閲の兩半
球図。地理的解説を全面に記載。回
歸線の金泥に残っており、保存良。



17 新製輿地全図 全1巻／

坤輿図識・坤輿図識補 全7冊
箕作省吾 弘化元年-4年 330,000円
「新製輿地全図」は兩半球世界図とし
て当時の傑作とされる。木版彩入、図
の部分35 × 60 糎、原裝簽付、卷子装。
「坤輿図識」はその解説書となる世界
地理書である。原裝簽付、保存良。





18 地学正宗 全7巻7冊及附図帖 杉田玄端
 天真楼蔵板 京都・勝村治右衛門ほか三都書林刊
 嘉永4年 660,000円
 凡例に依れば原本は和蘭國・プリンセンの著す所にして其の刊行は1817年(文化14年)とある。啓蒙書なれど当時の我国の世界地理書として最も高級なもの(鮎沢信太郎)とされる。原装題簽付、保存良好なれど惜しくも巻三の1丁が落丁。附図冊は首図及び第1~20図完、竹口貞斎刻。



19 瀛環志略 全10巻10冊 (清)徐繼畬 著
 井上春洋、森扶園、三守柳圃 訓點 阿陽對帽閣蔵梓
 文久元年 330,000円
 原本は清の徐繼畬の著(1850年刊)。本書は日本における復刻本だが、巻頭の地球図を彩摺とするなど、原本には無い改良が加えられている。原装題簽付、巻1の最終丁と裏表紙に一部虫損(本文には障り無し)がある。保存良好。

20 北蝦夷図 松前・松本文書
 江戸末頃写 一九八、〇〇〇円
 松本家は松前藩御用船の船頭を務めた旧家。墨書朱入108×56糎(変型)、1枚。略図風なれど北蝦夷北端及び山丹・満洲地域の地名、住居数などを記載する。



21 官板 実測日本地図 全4舗 開成所
 慶応刊 九三五、〇〇〇円
 伊能忠敬らの日本沿海実測に基づく我国初の公刊図。木版精刻彩刷、草色の布張り表紙、原装題簽付。「北蝦夷」(200×79糎)、「蝦夷諸島」(158×194糎)、「畿内・東海・東山・北陸」(222×154糎)、「山陽・南海・西海」(188×135糎)に分かつ極大日本図。「開成所印行」朱印。僅虫入、保存良。若干のズレはあるが元題簽貼付の木箱入。



22 岡本文平調査 樺太全図 明治3年写 三八五、〇〇〇円
 南北2枚1組、合わせた寸法は240×69糎、筆彩入。慶応元年、岡本文平は西村伝九郎とともに樺太全島を周回調査する。本図は西村所蔵図より借写すとの年記がある貴重図である。



23 北海道千島国択捉島之内「択捉郡全図」 彦藩・中田貞矩
 明4 1,100,000円
 二曲屏風、図面66×170糎。明治政府の北海道開発策により、旧彦根藩は千島国択捉郡開発に着手する。作者は藩の開拓係附属として明治3年8月、同地に着任、実測に基づく地図を作成、さらに地勢風土など各方面を調査した。その結果が本図及び図面左下「開拓の本原」と題する建言書である。千島地図製作史において、これまで言及される事の無かった貴重図。



24 蝦夷島奇観 全4巻 秦檜磨「原著」
一、五四〇、〇〇〇円

題箋の文字が擦れて読めないが、内容は「蝦夷島奇観」である。明治初期の写しだが、かなり技量の高い絵師の手に成る。4巻の総長16米50糎、絵図は約38場面を有する。説明文は概ね平易に書き改められており、また東博本に無い絵を2、3点含むなど、流布本とは趣を異にする。木箱入、保存良。



25 藻汐草 全1冊 [上原熊次郎・原著]

文化元年序 550,000円

通常は「蝦夷方言藻汐草」(乾・坤/二冊本)として知られているが、その初刊本である。12.5 × 16.5 糎、本文102丁、原装、題箋は一部のみ残存。金田一京助博士によれば、本書は二冊本では不分明の濁点、半濁点が高鮮明で、且つ格段に稀覯であるとする。本書は初刊本のみが有する跋文1丁を欠く。あるいは元より跋文を省いた1本か。保存良。

26 ゑぞことばのうつき 江戸末刊 88,000円

木版墨摺、22 × 30 糎、1枚。ごく卑近の蝦夷語をその対訳と共に28種掲載している。刊記無く、飾り絵の隅に「蛙房老人縮図」とあるのみ。



27 錦絵「蝦夷人飲食之図」(仮題) 鮮齋永濯
明治10年代 110,000円

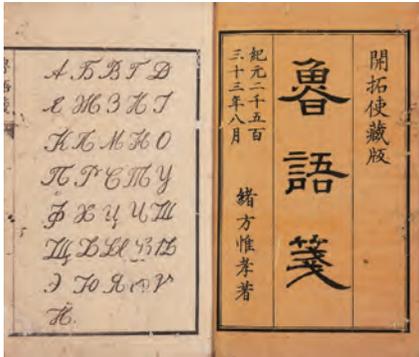
木版彩摺、33 × 49 糎、全1枚。永濯(天保4—明治23)、狩野派を習得し。多くの新聞雑誌挿画で人気を博した。摺り・保存良。



28 「蝦夷風俗十二ヶ月図屏風」六曲一隻 明治初期写 1,650,000円

平澤屏山の傑作「蝦夷風俗十二ヶ月図屏風」の模写である。一画面の寸法135 × 49 糎、原画12図の内、2月「山獵図」、4月「家族団樂の図」、3月「布海苔採り図」、5月「鱈粕乾し図」、11月「神祈り図」、7月「テス漁図」の6図を描く。保存状態は概ね良好。(各図に「河鍋」暁齋の署名・落款があるが暁齋の真筆であるかは不明である。ここではアイヌ風俗画の上写本としての評価に留めた)





29 魯語箋 卷一 緒方惟孝
開拓使蔵版 明6 二七五、〇〇〇円
作者は緒方洪庵の三男、幕府の遺魯伝習生としてロシアへ留学した人。上段に日本語、下段にロシア語と読み仮名を記す。全2巻の内の巻1のみだが、極稀本である。和装木版、縦183×横12浬、128丁、1冊。替表紙、虫喰裏打済。



30 北海道三角測量報文
M・S・デイ 開拓使蔵版
明10 一九八、〇〇〇円
邦訳本、内題「北海道測量報文」。開拓使長官・黒田清隆宛、四六判背革原装、見返しマーブル、本文185頁、折込図3葉完。保存良。



31 明治七年大島圭介報文 石炭編
本文及び図譜 開拓使刊
明12 一九八、〇〇〇円
著者は明治6年、命に依り鉄鉱・石炭・山油の採掘、製造状況を米國に視察す。その復命書の石炭編。黒クロス原装、本文141頁、図譜44頁(第1-78図)、全2冊。保存良、稀本。



32 北海道地質測量報文
B・S・ライマン 開拓使蔵版
明10 一六五、〇〇〇円
北海道地下資源調査の基礎を築いた、お雇い外国人・ライマンによる報告書邦訳本。開拓使長官・黒田清隆宛、四六判背革原装、見返しマーブル、本文402頁、背に少煤け、スレ有。



33 船齋花種栽培畧説 乾・坤
野村高文・著述 開拓使刊
明8 一九八、〇〇〇円
内題には前編上・下とある。和装活版、袋綴じ62丁、41丁、2冊揃。保存良、極稀本。



34 北海道蝗害報告書
開拓使札幌勸業係 明15 一三三、〇〇〇円
四六判、トノサマバッタの銅版図1枚、折込「北海道蝗害郡国郡図」手彩入1葉。本文中銅版驅除図解9面入、計142頁完全。表紙に汚れ、保存並上。



35 浦塩斯德紀行 全 鈴木大亮
開拓使刊 明12 二七五、〇〇〇円
開拓長官・黒田清隆宛調査復命書。明治11年、北海道産物を装載して出港、浦塩斯德貿易景況などを調査す。本文143頁、巻頭に折込図2葉入、原装保存良。本書は開拓使刊行書中の稀観本である。



36 西南諸港報告書 全 金井信之
開拓使 明15 一七六、〇〇〇円
北海道物産の南海・山陽・兵庫・大阪への輸出入交易状況調べ。黒田清隆宛の詳細な復命書。各港彩刷図版入、本文1206頁。総革原装、保存美。



37 明治期北海道鉄道写真帖
 鶏卵写真48枚 1枚の寸法20×26㎝、夫々に毛筆で但し書きがある。「手宮停車場」「住吉陸橋」「張碓穿路」「札幌停車場」「豊平鉄橋」「江別鉄橋」「幌内停車場」「幾春別釣橋」「室蘭炭庫」「白老停車場」「苫小牧停車場」「砂川停車場」「空知太停車場」「歌志内下の沢炭坑」「夕張第三橋」「夕張停車場」ほか。写真は概ね鮮明である。



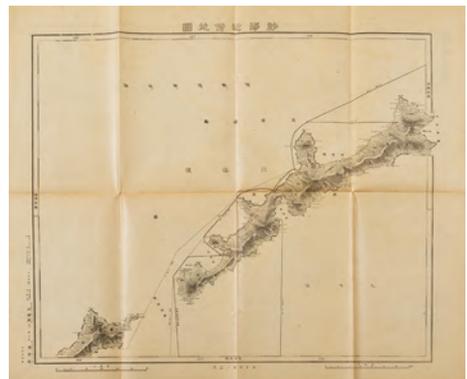
38 北海道内鉄道各線建設概要 14種一括
 鉄道院(省)北海道建設事務所 明43~昭7 450,000円
 各菊判。留萌線、網走線、下富良野線、萬字線、湧別線、東俱知安線、増毛線、名寄線…。戦前の北海道内鉄道建設概要のほぼ全て。唯一根室線を欠くか。釧網線の表紙に汚れ・少傷み有。



39 北海道各地鳥瞰図コレクション 150種
 大正7年~昭和30年頃 800,000円
 函館、室蘭、小樽、札幌、旭川などの主要都市、さらに地方都市や大沼、登別、定山溪、大雪山、阿寒などの温泉や観光地を含む幅広いコレクション。画作者は初三郎57点、常光18点ほか富仙、研像、ぎしろう等。



40 20万分之1 北海道実測切図 初刷図
 全32枚 北海道庁地理課 明23~30 275,000円
 石版彩刷、各35×49㎝。明治20年北海道庁技師・阿曾沼次郎ら29名により測量開始、23年より刊行され、30年3月に完成。アイヌ語地名が詳細を極めている。



41 50万分之1 北海道・千島列島近傍地図
 (仮称) 全11枚 博愛館 明33~36 165,000円
 石版墨刷、49.5×59㎝。「北海道図」6枚、「千島列島図」5枚。近代測量による千島列島図としては極く初期のものである。稀図。